



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	14,700,000株	24年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	924株	24年3月期	924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	14,699,076株	24年3月期3Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高とデフレ基調からの脱却が進まないなか、政府の金融緩和政策が継続実行されつつあるものの、これらの成果が国内実体経済に波及するかは見極め難しく、来年実施の消費税増税の心理ストレスもあり、個人消費は減退傾向にあります。国外においてはユーロ圏の信用不安の継続と、新興国経済の成長鈍化によるグローバルな経済不安に加えアジア近隣諸国との関係悪化も相まって、対外経済環境は不確実性が色濃く内在しております。

このような経営環境のもと当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション（略称：SS）業界においては、自動車燃料販売以外の収益確保策の業態転換に伴いカーケア関連用品の販売機会が縮小しました。これに対し当社は、「MURAKIプラス」による付加価値商品の提案、さらには「MURAKIプラス」の完成形ともいえる最大且つ喫緊の課題であったトータルカーライフサポートビジネスに対応すべく、今まで当社の未開拓領域であった部品事業に光をあて、双璧と成る部品販売事業の立ち上げに着手しました。これにより安定した売上高と利益の確保が実現可能となりました。

具体的には地域大手部品卸売会社との業務提携締結による第一部品事業と、全国大手部品卸売会社との売買契約締結により全国展開を可能にした第二部品事業であります。第一部品事業は、当社が過去に克服しきれなかった分野を地域大手部品卸売会社と業務提携することで相互が大きな強みを得たことに意義があります。従来よりカーケア関連用品事業と部品事業は相容れない位置づけにあったものを、当社はその壁を打払い全国8,000以上の既存顧客に必ずや満足頂ける全方位型の新たなサービスを確立しました。これはまさに当社が目指すトータルカーライフサポートビジネスの至論であり、同時に新しい潜在市場を獲得するにいたりました。

現在、第一部品事業におきましては首都圏支店・南関東支店・北関東支店で8社（1月締結3社を含む）の地域大手部品卸売会社と業務提携の契約を完了しており、第二部品事業におきましては全国大手部品卸売会社との売買契約を締結し、既に支持を得た1,000SS以上の顧客とのビジネス拡大の具現化に成功しました。

この部品販売事業は来期以降、従来のカーケア関連商品販売事業と共に基柱、両輪と位置づけ全国スケールでの対応を加速させることで更なる収益性を高めてまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高 6,914百万円（前年同期比 0.4%減）となりました。

収益面におきましては、売上総利益は 1,852百万円（前年同期比 2.1%減）。販売費及び一般管理費は、基幹システム入替による減価償却費が増加したものの、人件費及びその他の経費の削減により 67百万円減少し、営業利益は 85百万円（前年同期比 46.3%増）、経常利益 129百万円（前年同期比 48.2%増）、法人税等 41百万円を計上し、四半期純利益は 80百万円（前年同期比 42.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 6,748百万円（前年同期比 1.0%減）セグメント利益は 90百万円（前年同期比 50.9%増）となりました。「その他」につきましては、売上高は 249百万円（前年同期比 8.5%増）セグメント損失は 10百万円（前年同期のセグメント損失3百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は 4,321百万円（前連結会計年度末比 366百万円増）うち純資産は 2,272百万円（前連結会計年度末比 36百万円増）となりました。

資産の部における項目増減は、流動資産 405百万円の増加、固定資産 38百万円の減少となりました。主な原因は次のとおりです。流動資産は、現金及び預金の増加 159百万円、売掛債権の増加 261百万円、商品在庫の減少 43百万円、流動資産のその他の増加 25百万円等によるものです。固定資産は、有形固定資産の減少 25百万円、無形固定資産の減少 14百万円等によるものです。

負債については、流動負債の増加 294百万円、固定負債の増加 35百万円で、流動負債の増減内訳は、仕入債務の増加 290百万円、1年以内償還予定社債の増加 49百万円、短期借入金の減少 37百万円。固定負債は、長期借入金の減少 40百万円、社債の増加 84百万円、退職給付引当金の減少 12百万円等によるものです。

尚、当第3四半期連結会計期間において新たに150百万円の社債を発行しております。流動負債における1年以内償還予定社債及び固定負債における社債の増加はこれによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,026,654	1,186,467
受取手形及び売掛金	1,032,627	1,293,996
商品及び製品	640,447	597,227
その他	71,245	96,264
貸倒引当金	△4,131	△2,067
流動資産合計	2,766,842	3,171,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,203	771,103
減価償却累計額	△662,908	△670,005
建物及び構築物（純額）	112,295	101,097
機械装置及び運搬具	31,808	30,298
減価償却累計額	△24,846	△25,705
機械装置及び運搬具（純額）	6,962	4,593
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	2,875
減価償却累計額	△1,581	△2,012
リース資産（純額）	1,293	862
その他	172,616	171,475
減価償却累計額	△138,994	△149,121
その他（純額）	33,622	22,353
有形固定資産合計	592,499	567,232
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	45,095	45,411
差入保証金	399,407	381,594
その他	79,346	94,781
貸倒引当金	△21,103	△17,774
投資その他の資産合計	502,745	504,013
固定資産合計	1,188,234	1,149,257
資産合計	3,955,077	4,321,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,216	1,107,500
1年内償還予定の社債	33,000	82,500
1年内返済予定の長期借入金	163,200	166,750
短期借入金	45,800	8,000
リース債務	602	627
未払法人税等	46,935	44,461
賞与引当金	18,000	9,003
その他	91,956	92,076
流動負債合計	1,216,711	1,510,918
固定負債		
社債	50,500	134,500
長期借入金	122,000	81,300
リース債務	778	304
退職給付引当金	299,543	287,107
役員退職慰労引当金	10,240	18,336
その他	19,033	16,019
固定負債合計	502,095	537,567
負債合計	1,718,806	2,048,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	244,534	280,608
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,243,631	2,279,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,360	△7,044
その他の包括利益累計額合計	△7,360	△7,044
純資産合計	2,236,270	2,272,660
負債純資産合計	3,955,077	4,321,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	6,939,432	6,914,629
売上原価	5,046,636	5,061,794
売上総利益	1,892,796	1,852,834
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	835,211	807,693
賞与引当金繰入額	9,000	9,003
役員退職慰労引当金繰入額	6,367	8,096
賞与	37,537	19,090
その他	946,056	923,175
販売費及び一般管理費合計	1,834,173	1,767,058
営業利益	58,623	85,776
営業外収益		
受取利息	1,013	1,743
仕入割引	32,864	44,247
その他	8,380	14,394
営業外収益合計	42,259	60,385
営業外費用		
支払利息	5,158	6,730
手形売却損	4,144	2,654
社債発行費償却	1,959	2,938
その他	2,239	4,331
営業外費用合計	13,502	16,655
経常利益	87,380	129,506
特別損失		
固定資産除却損	623	7,422
その他	—	452
特別損失合計	623	7,874
税金等調整前四半期純利益	86,756	121,631
法人税、住民税及び事業税	30,318	41,461
法人税等合計	30,318	41,461
少数株主損益調整前四半期純利益	56,437	80,170
四半期純利益	56,437	80,170

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,437	80,170
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△4,008	316
その他の包括利益合計	△4,008	316
四半期包括利益	52,429	80,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,429	80,486
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービスステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。

なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,818,359	121,073	6,939,432	-	6,939,432
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	108,421	108,469	(108,469)	-
計	6,818,407	229,499	7,047,902	(108,469)	6,939,432
セグメント利益又はセグ メント損失	59,866	△ 3,107	56,759	1,864	58,623

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,748,568	166,060	6,914,629	-	6,914,629
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	82,965	82,984	(82,984)	-
計	6,748,587	249,025	6,997,613	(82,984)	6,914,629
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	90,369	△ 10,299	80,070	5,706	85,776

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。